

調査概要

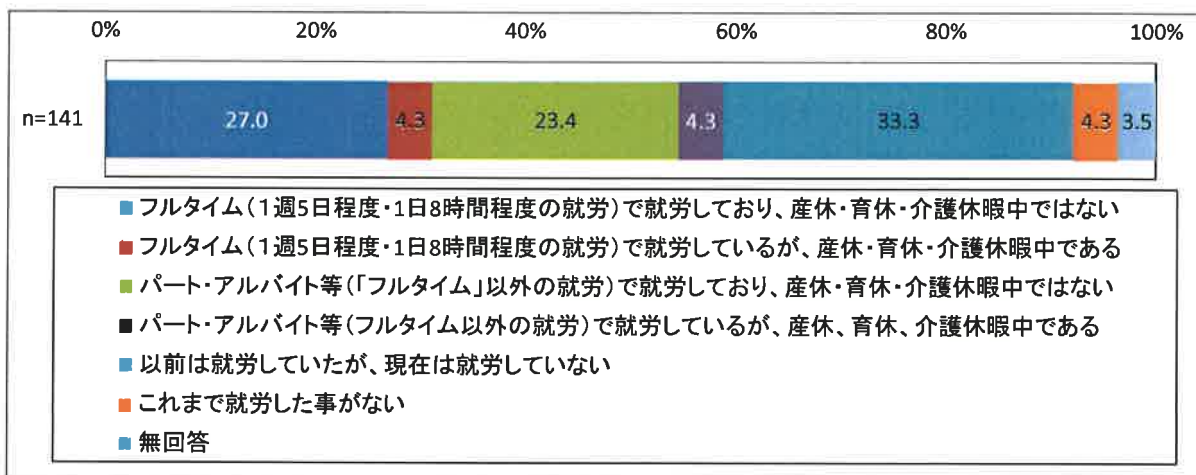
- 調査目的： 計画を策定するに当たり、日々の生活の中でどのようなご意見やご要望をお持ちであるのかをお伺いし、今後の子育て支援を展開していくための基礎資料とするものです。
- 調査対象： ①町在住の就学前児童をお持ちの保護者の方  
②町在住の小学生児童をお持ちの保護者の方
- 調査期間： 平成25年12月6日～平成25年12月17日
- 調査方法： ①②とも郵送による配布、回収

	配布数	回収数	有効回答率
就学前児童	204票	141票	69.1%
小学生児童	213票	153票	71.8%

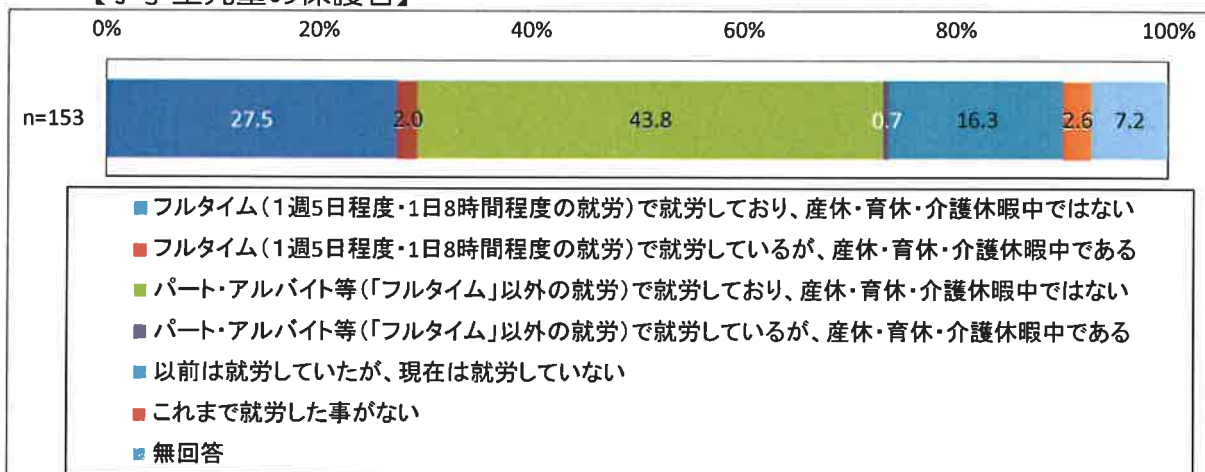
(1) 保護者の就労状況

○母親の就労状況（自営業・家事従業者含む）

【就学前児童の保護者】

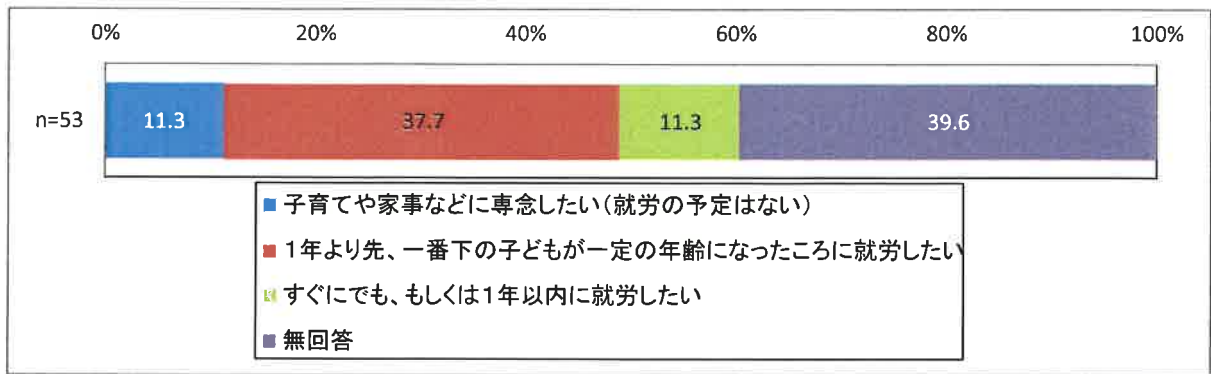


【小学生児童の保護者】

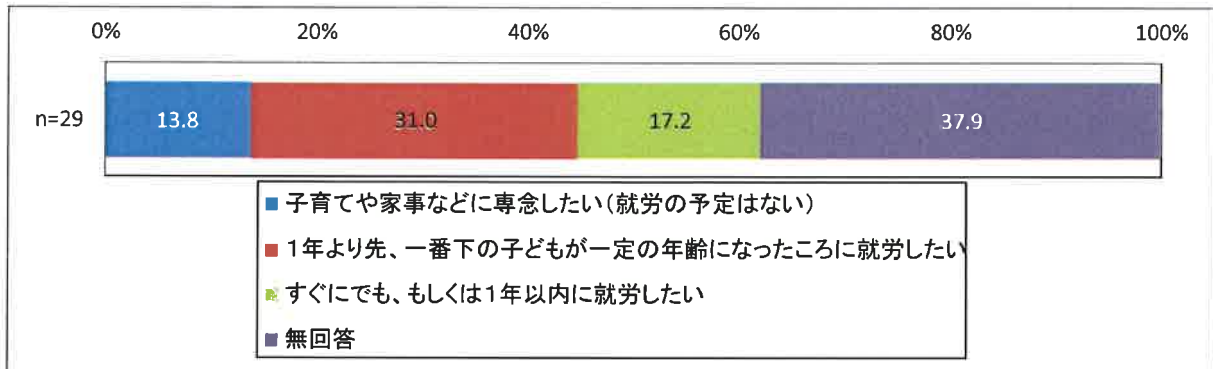


○現在就労していない人の今後の就労意向

【就学前児童の保護者】



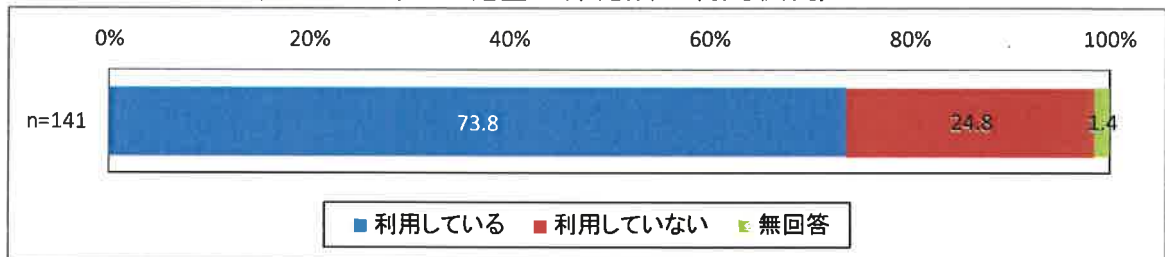
【小学生児童の保護者】



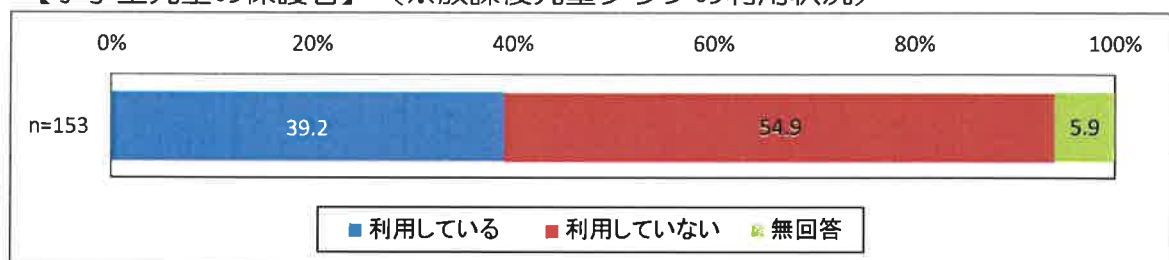
(2) 教育・保育事業の利用について

○平日の定期的な教育・保育事業（幼稚園・保育所・児童館など）の利用状況

【就学前児童の保護者】（※幼稚園・保育所の利用状況）

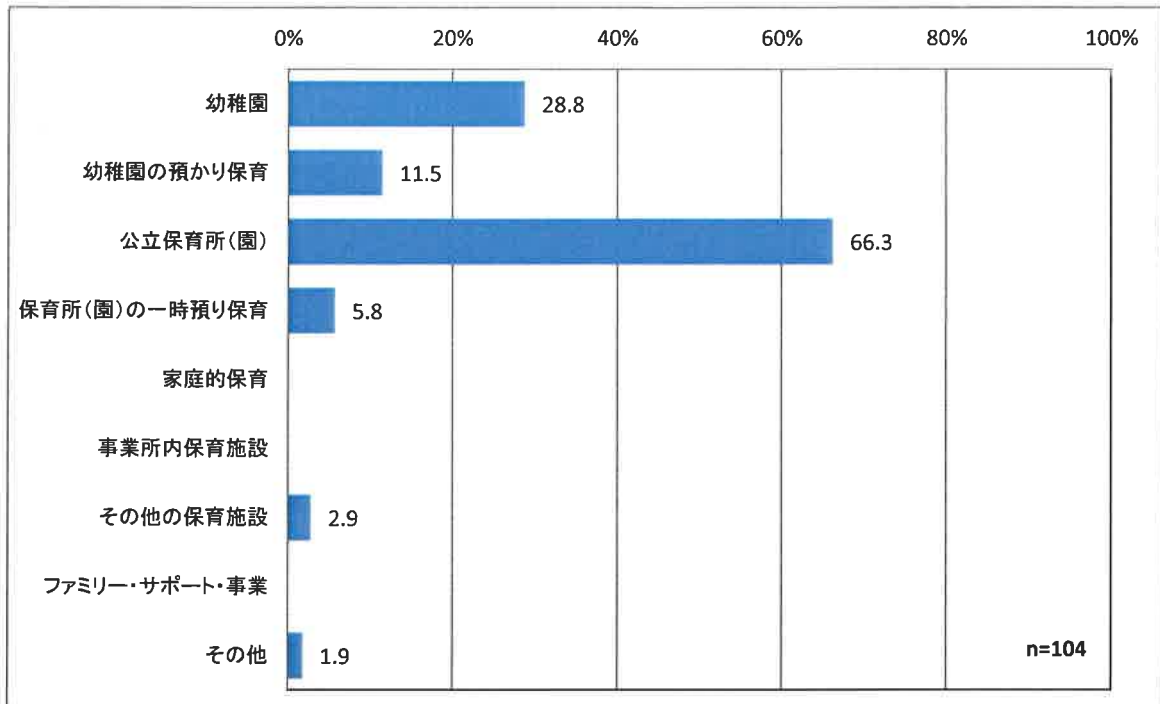


【小学生児童の保護者】（※放課後児童クラブの利用状況）

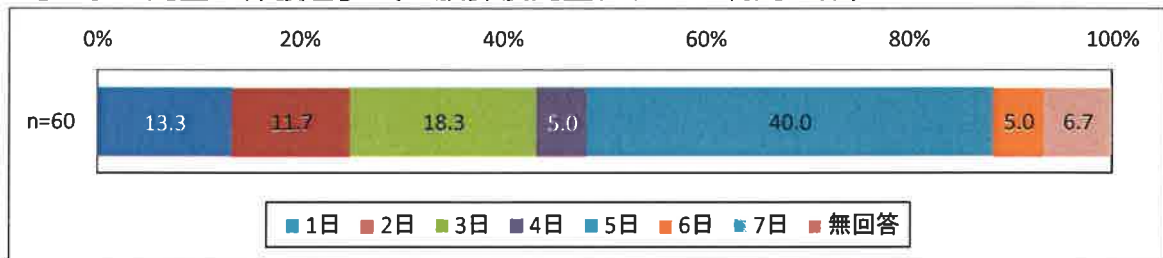


○利用している教育・保育事業

【就学前児童の保護者】

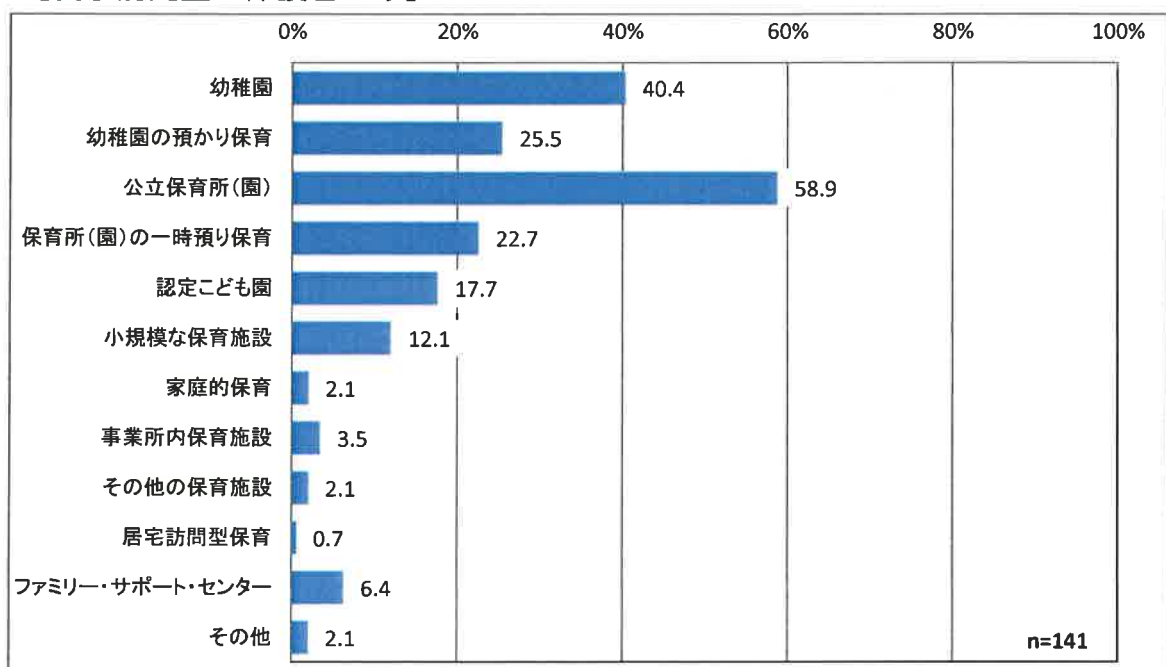


【小学生児童の保護者】（※放課後児童クラブの利用日数）



○今後利用したい教育・保育事業

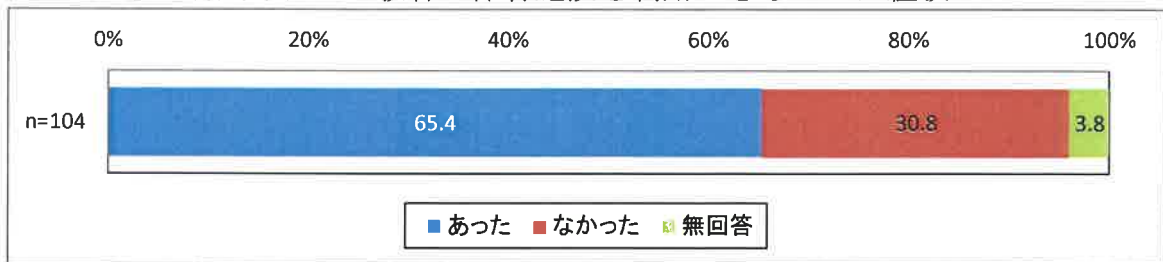
【就学前児童の保護者のみ】



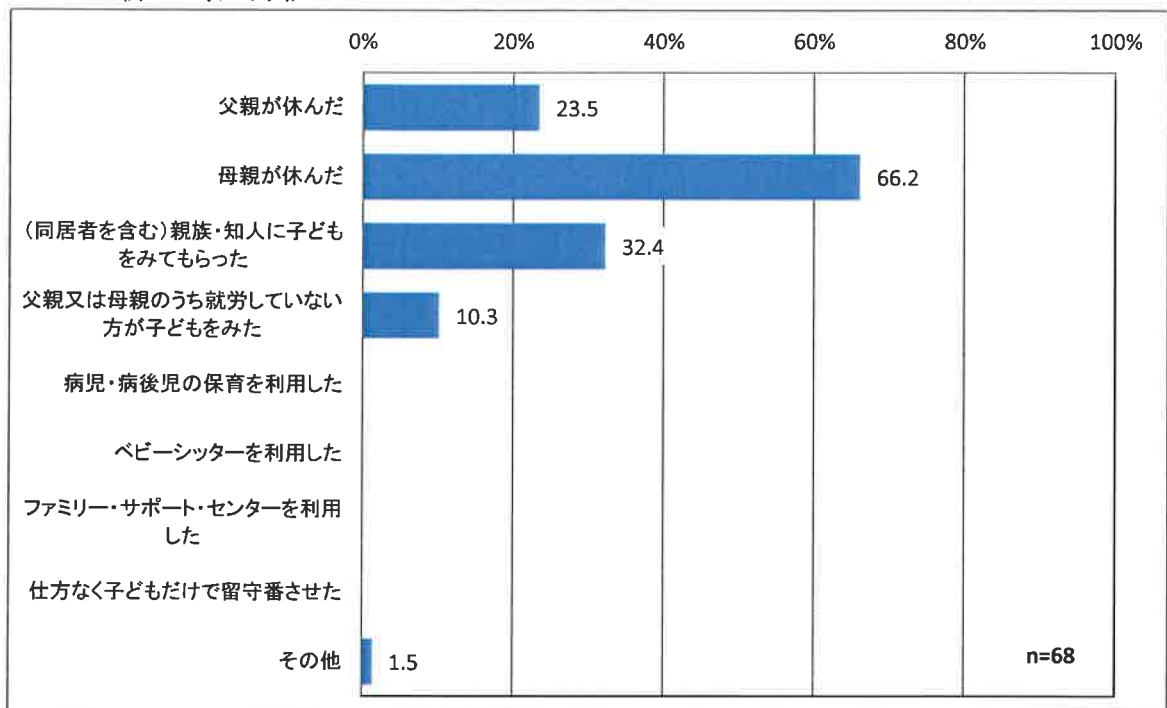
(3) 子どもが病気やケガのときの対応について

【就学前児童の保護者のみ】

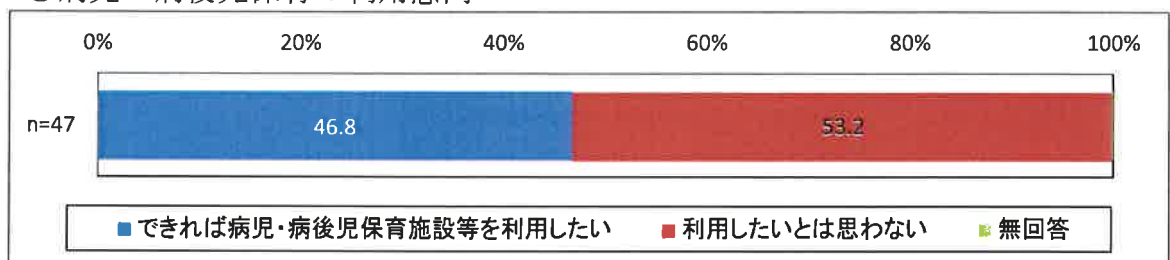
○子どもが病気やケガで教育・保育施設を利用できなかった経験



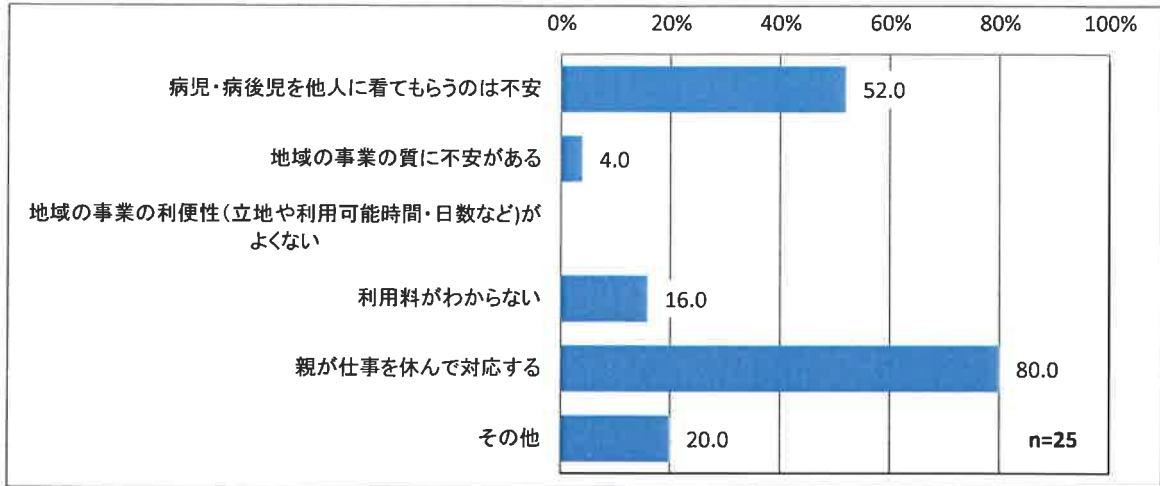
○その際の対処方法



○病児・病後児保育の利用意向



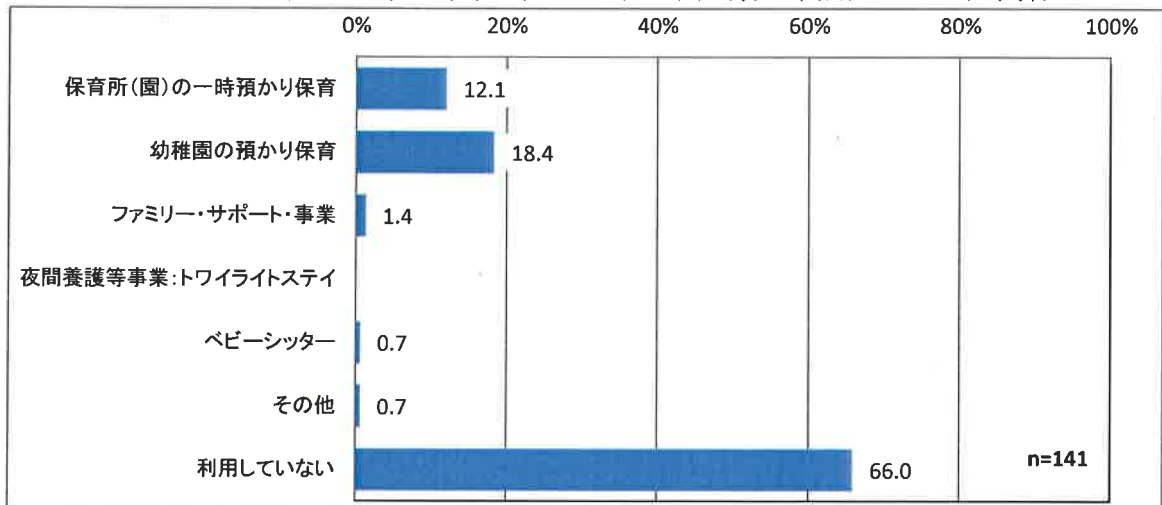
○利用したいと思わない理由



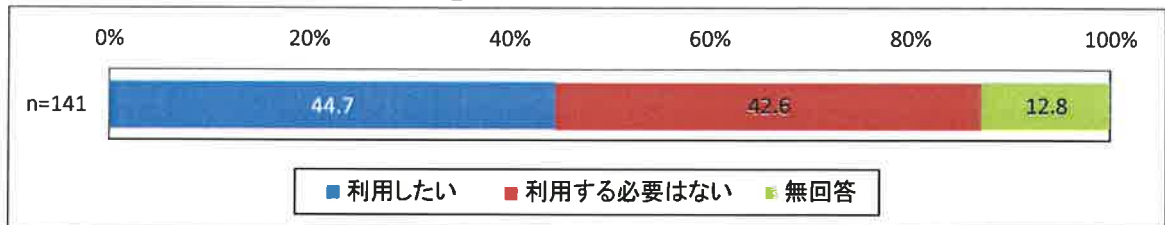
(4) 不定期の教育・保育事業の利用について

【就学前児童の保護者のみ】

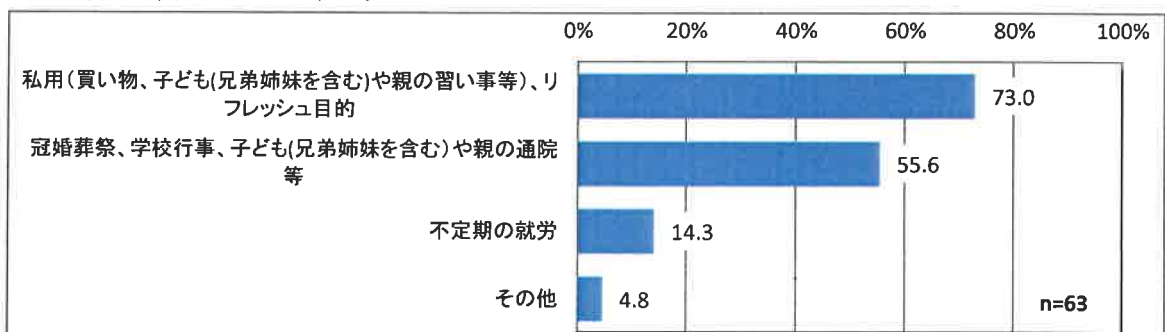
○私用や親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業



○今後の不定期的な事業の利用意向



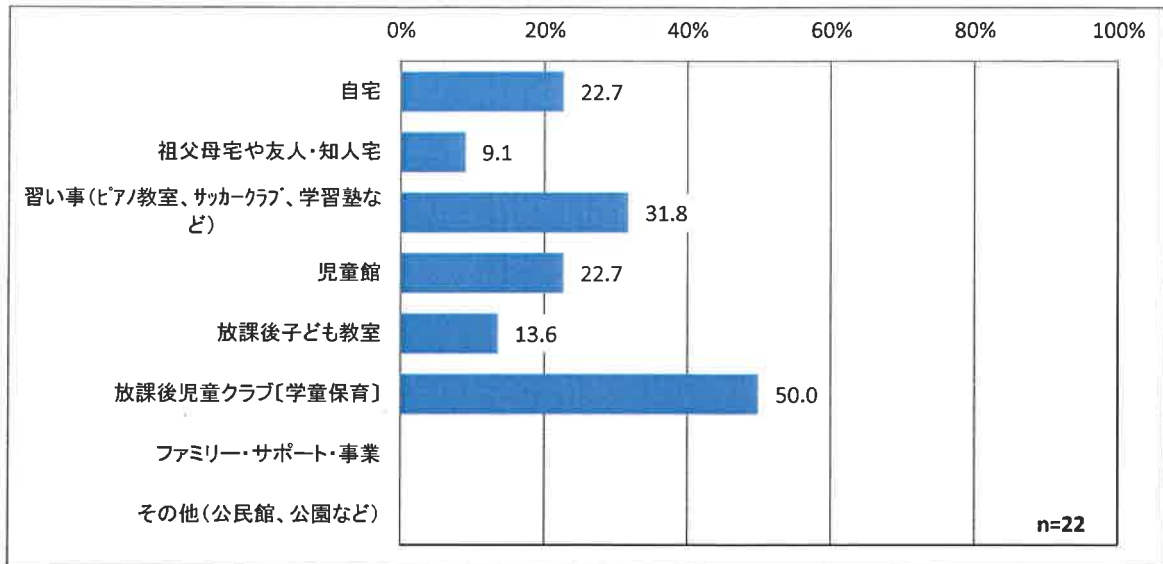
○事業を利用したい目的



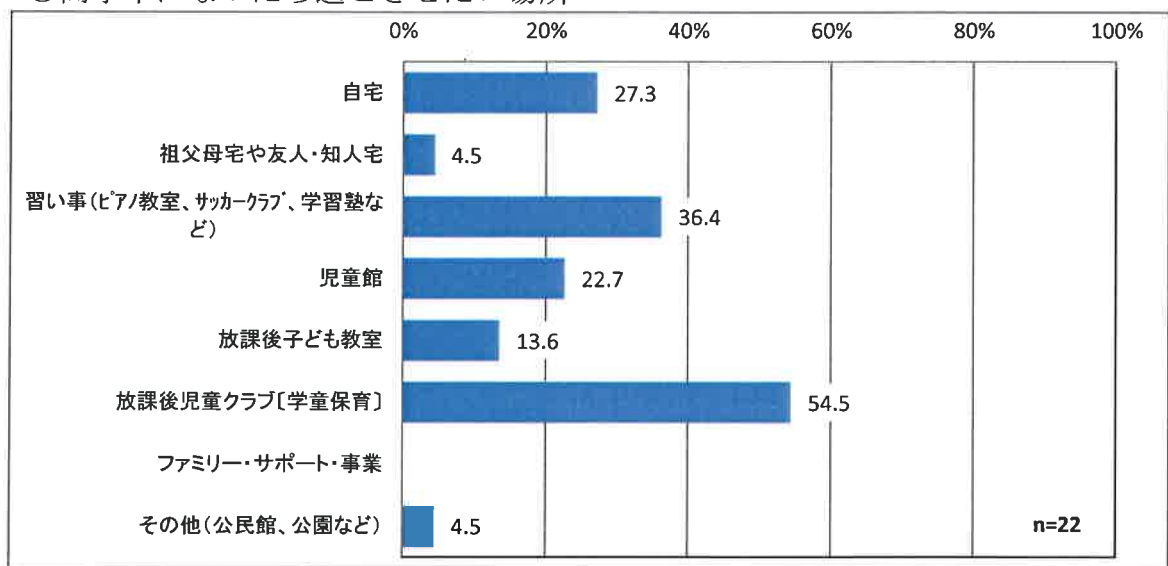
(5) 小学校就学後の放課後の過ごし方

【就学前児童の保護者のみ】

○低学年のうちに過ごさせたい場所



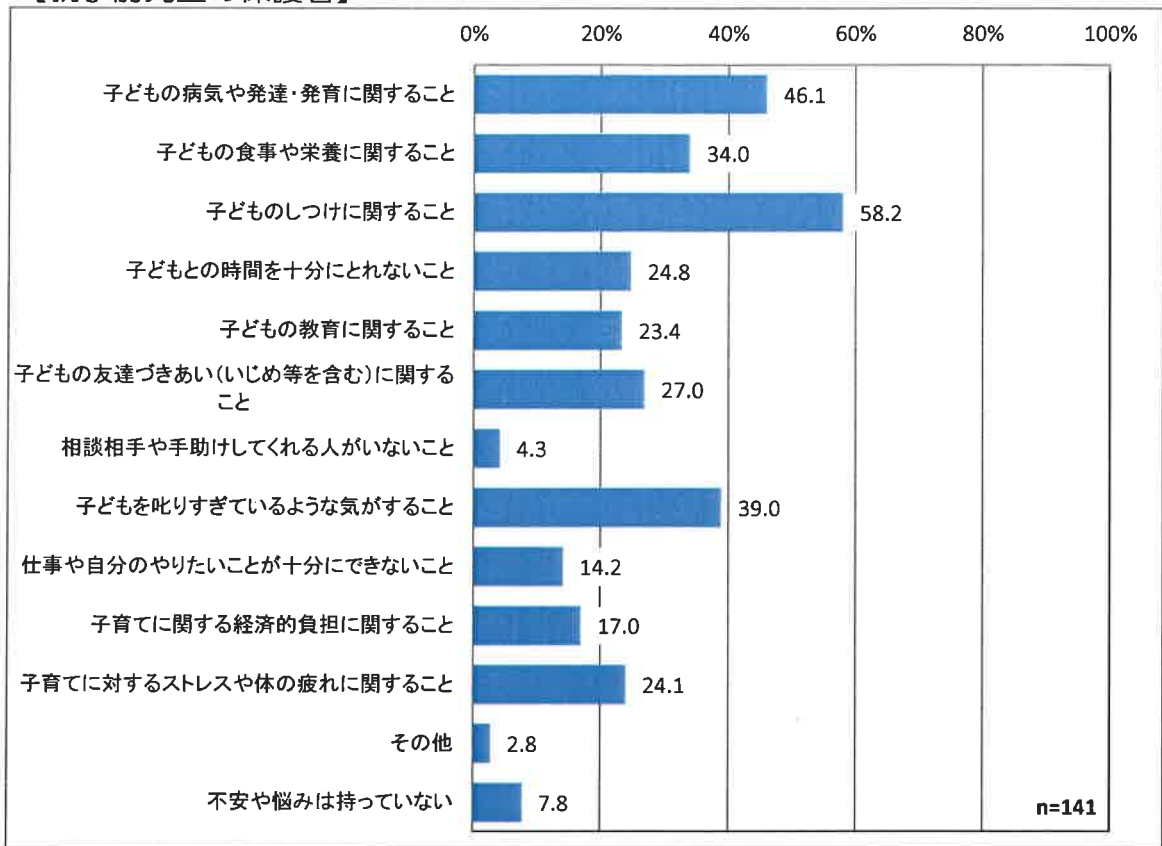
○高学年になったら過ごさせたい場所



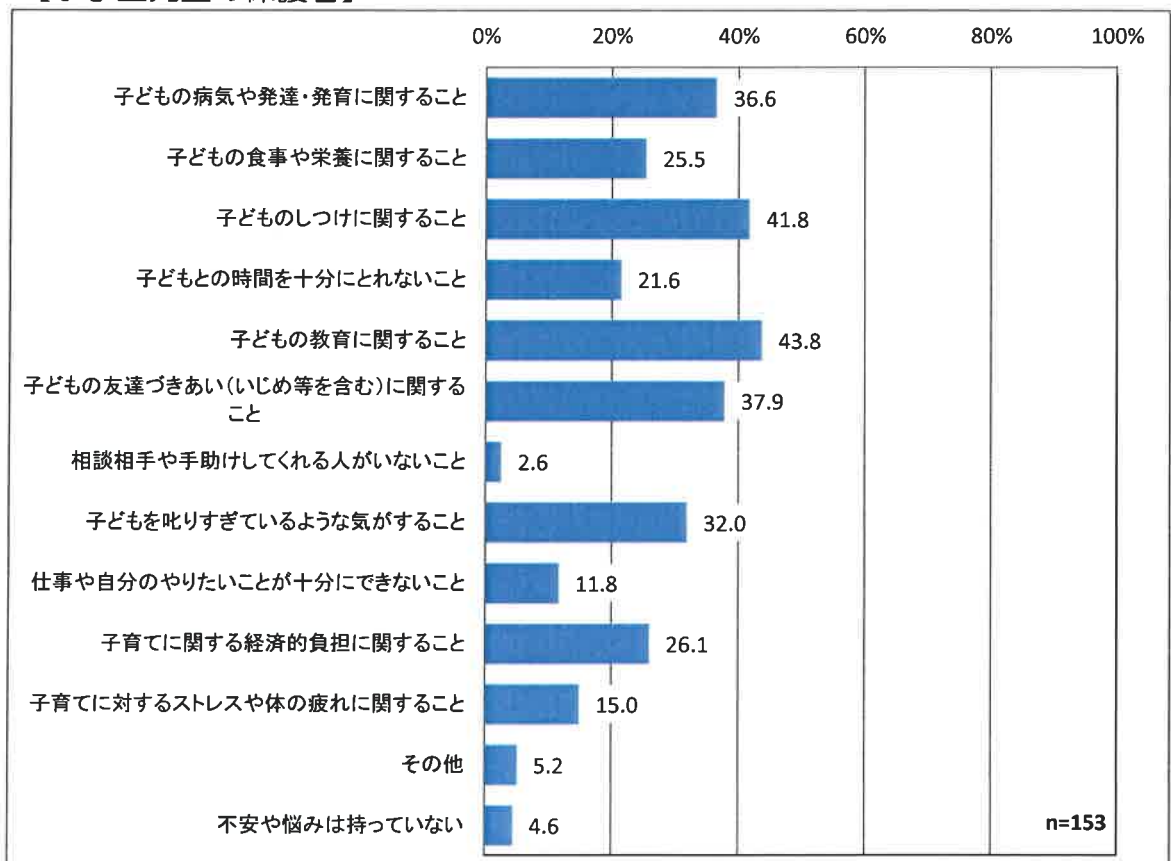
(6) 子育てについての不安や悩み

○子育てをする上でどのような不安や悩み

【就学前児童の保護者】

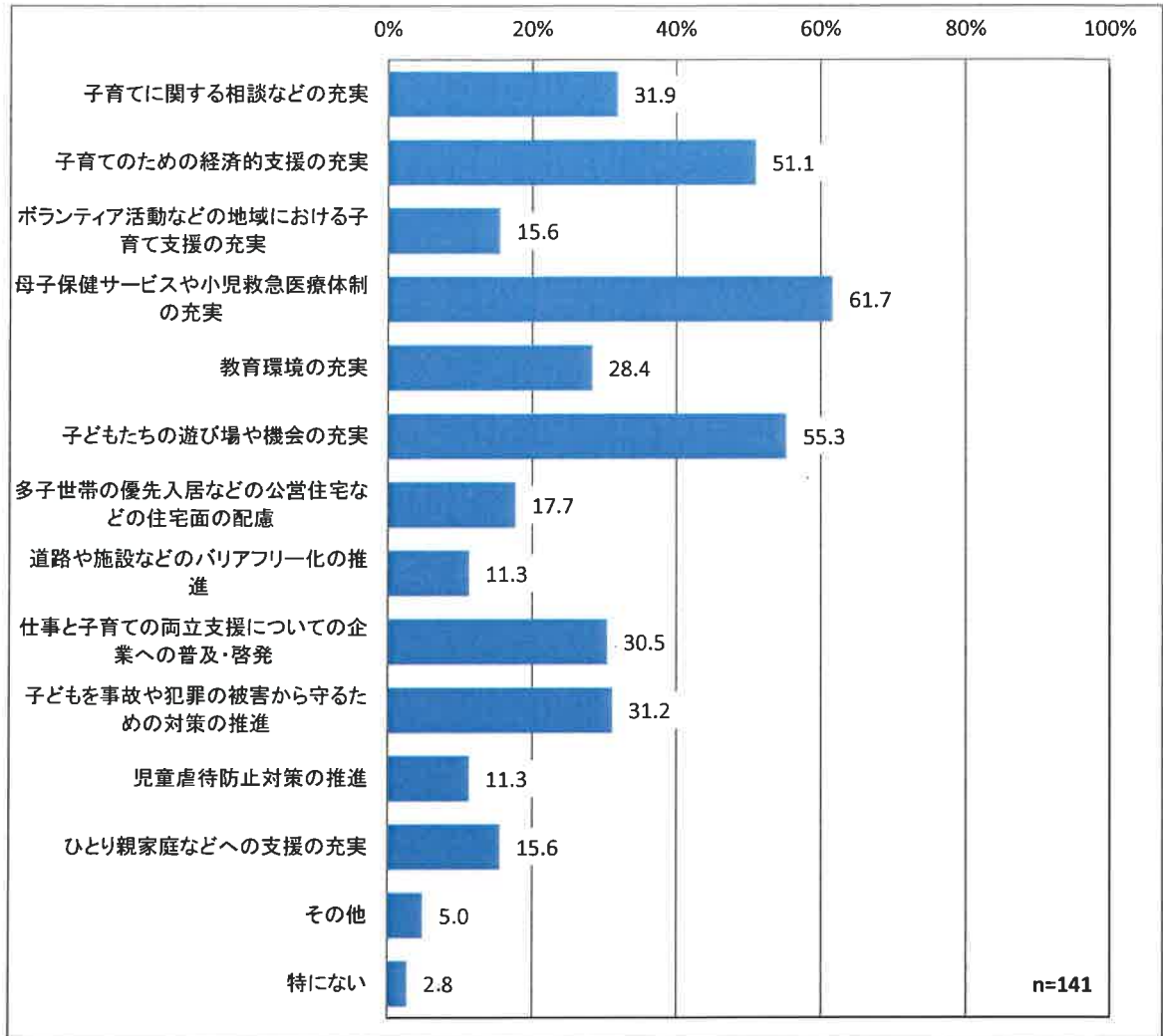


【小学生児童の保護者】



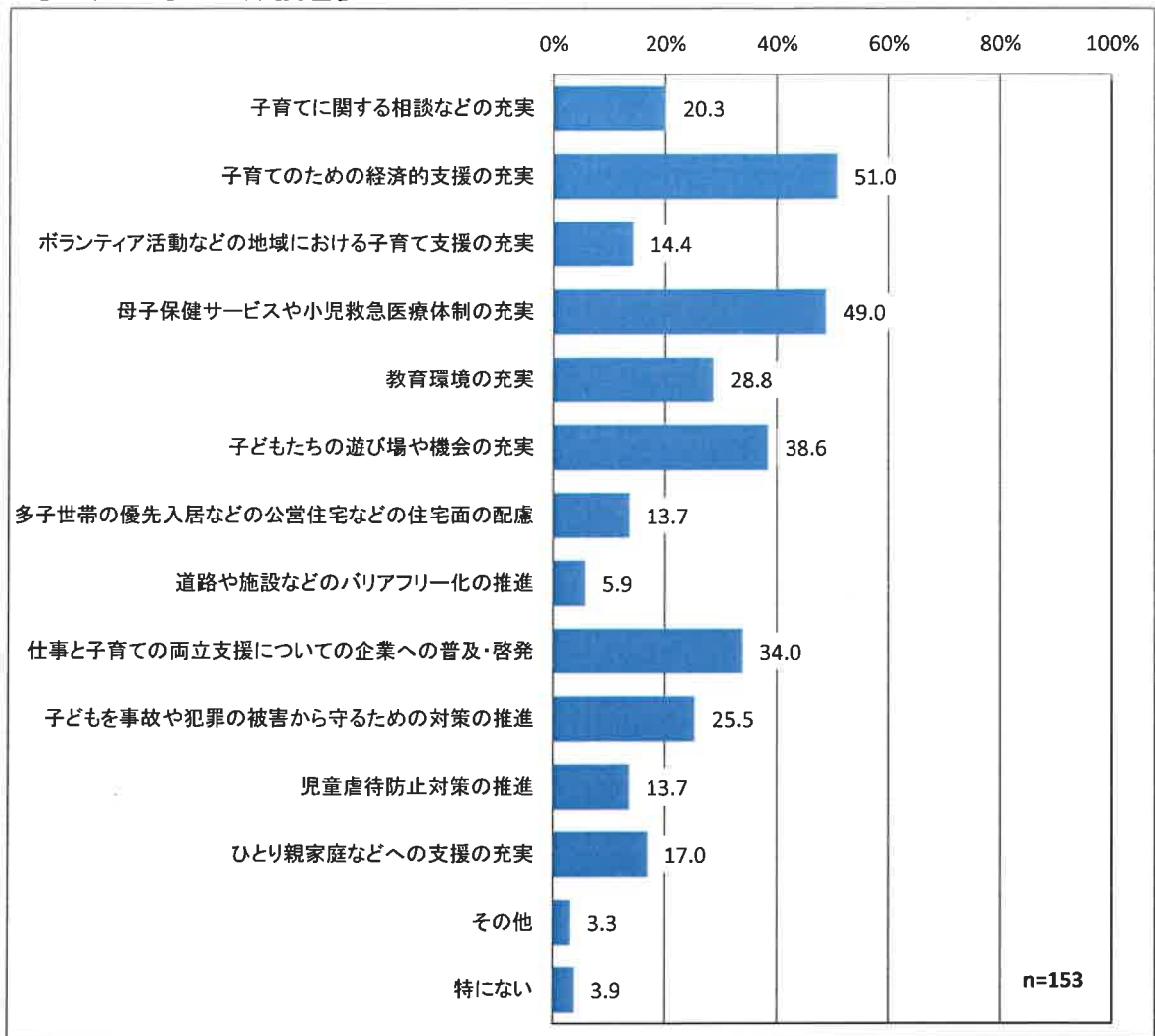
○必要だと思う子育て支援策

【就学前児童の保護者】





## 【小学生児童の保護者】



## (1) 幼児教育・保育サービス

- 昭和54年11月竣工の屈足保育園は、築後35年経過しており、施設内の老朽化が激しいことから、早急に改築に向けての整備が必要である。
- 新得保育所において、3歳児未満の入所が増加しており、従来の入所定員では超過している状態であり、入所定員の増や施設内整備に向けての検討が必要である。
- 急に子どもを預けられる場所もないので不便に感じます。
- 保育所が過密になってきている。拡張無理なら移転。市街地にもう一つ保育所を建ててほしい。
- もっと保育に関わる方達の正職員化を望みます。
- 朝8～9時、夜18時30分～19時の時間帯に、子どもが一人で親の迎えを待てる場所がほしい。

## (2) 新得町の子育て支援サービスの充実

- 一般開放については、利用する親子が固定化されており、利用者を増やしていく方策（周知方法など要検討）が必要である。
- 親子ひろばでは、親・子ども同士の交流が深められ、一般解放時には見られない姿を見ることができており、気になる子の気づきに繋がってはいる。  
一方で、子どもとの関わりが保護者任せになってしまうことが多い。また、登録数は多いが年齢が上がるにつれて参加率も低くなる傾向である。  
各ひろばの活動内容の充実や、親が子に自主的に関わろうとする姿を育てていくための職員（保育者）の更なるスキルアップを目指す。
- 平成25年8月事業開始のファミリーサポート事業については、ニーズに対応するための援助会員の確保、事業周知に努める必要がある。
- 相談支援については、一般解放時に相談を受けている事例が多く、相談日という決まった日を定めることによって敷居が高くなってしまっている現状がある。もっと気軽に相談ができる体制や、更なる専門的知識のスキルアップが必要と思われる。
- それぞれの施策が独立しており横の関係がどのようになっているか不明な点がある。個々の子育てに必要な情報を紹介し、各機関に繋げてくれるコーディネーター的な場所や人材があれば助かります。
- なかよしの開館時間を9時とか9時30分とかにしていただけると助かります。日曜日にも開館を望みます。
- 高学年になっても楽しく利用できる放課後児童クラブの環境。

### (3) 発達支援

- 「いちご教室」(小集団支援)対象児童の保護者に対しての、教室の勧奨など配慮が必要と思われる。
- 保育士の専門性のスキルアップ
- 特別な支援が必要な子どもに対し、一人ひとりの状況や発達に応じた支援が必要である。
- 療育の質の向上、対象年齢の引き上げを早急に整えてほしい。

### (4) 情報の提供・地域との関わり

※(1)～(3)共通

- 最新の情報提供が必須。
- 提供方法の工夫など、いかに町民の方々に必要なこと・理解していただきたいことなどの情報発信が、タイミングよく発信する必要性がある。
- 子どもの減少や近隣との関わり希薄化などにより、子育て家庭や子どもと地域住民が関わる機会が減ってきている。地域で子どもや子育て家庭の状況を理解し関心を深め、地域全体で子育てを支えていくことが必要である。

### (5) 新得町の子育て環境

#### 【課題1. 公園などの整備】

アンケート結果において、「必要だと思う子育て支援策」の質問で、就学前児童保護者も小学生児童保護者も要望が高かったのが「子どもたちの遊び場や機会の充実」でした。

また、自由意見においても、公園の整備などについて次のような意見がありました。

- 大きな公園があるといい(アスレチック、水遊び場等)。また公園自体が近くにない困っている。
- 公園の遊具がサビついてボロボロで危険。見回って直してほしい。
- 公園を増やしてほしい。気軽に遊べる場所が少ない。外で遊ぶ場所が少なすぎ。特に0～1歳児が遊べる清潔で安全な場所が少ない。
- 遊びやすい雰囲気のある場所、もっと集まれる場所を提供してほしい。
- 高学年以上の子どもの行き場がない。

### 【課題2. 医療などの充実】

アンケート結果では、「必要だと思う子育て支援策」の質問で、就学前児童保護者も小学生児童保護者も「母子保健サービスや小児救急医療体制の充実」の要望が上位となっており、55.3%ありました。

また、自由意見でも、医療関係などの充実を望む声が多数あります。

- 小児科医がない。耳鼻科や皮膚科、産科など。月1回でもよいので呼んでほしい。
- 子育てはしやすいと感じますが、医療面がとても不安です。
- 救急で受け入れてくれる施設まで1時間近くかかるので不安。
- 医療費の助成は助かっていますが、立て替え払いではなく、窓口負担ゼロがありがたい。
- 病児病後児保育があれば助かる。

### 【課題3. 保育料など費用の軽減・経済的支援の充実】

アンケート結果において、「子育てのための経済的支援の充実」を望む声も上位にあります。

また、自由意見においても、下記のような声が上がっています。

- 2人目からの教育・保育施設の無料化を希望します。
- インフルエンザ予防接種の無料化や、保育料がもう少し安いとよいです。
- 他町では、妊婦検診の助成回数が多かったり、子どもを産むたびに助成金が出たりしてます。人口増の一因になるのではないか。
- 住みやすく子育てしやすいと思うが、2~3人目が欲しいと考えたときに経済面からストップがかかる。保育料・おむつ代・ミルク代等の助成があれば子育て家庭環境も良くなると思う。
- 親の負担軽減を減らすだけの取組は子どもに何のメリットがあるのか。子どもを中心に、何が必要か考えていけたらいいのでは。

【課題4. その他、アンケートの自由意見からの課題】

(交通)

□本通りのひろせの前と児童館前の交差点に信号がないのは不便。低学年に危険だと思う。

□「そばくる」も子ども達が利用しやすい時間に運行してほしい。また、子どもと高齢者は無料にしてほしい。

□農村部の通学路の環境、冬場は除雪で歩道が雪に埋まっている。

□冬場、新得山スキー場にも「そばくる」を運行してほしい。

□町のイベント（町民大学等）に親の送迎がなくても行ける体制がほしい。

(母子・保健)

□予防接種について、おたふく・水疱瘡など任意接種の情報もスケジュール表に載せるべきだと思う。また、接種の助成も検討してほしい。

□父子家庭だと、どうしても経済的支援がないため少し辛いです。

(その他)

□今の時代や生活スタイルに合ったものに替えていく必要あり。親の負担を減らすことが支援に繋がっていきます。親に余裕があってこそ「ゆとりのある子育て」だと思います。

□職場での育児休暇や子どもの看病のための休日が整備されるといい。そうならないと第2. 第3子と産めない。